

スーパービジョン体験談2025 中川仁史さんの場合

スーパービジョン（以下、SVと表記する場合あり）ってなに？と思われる方も多いことと思います。

そんなわけで、スーパービジョンを受けた会員さんに、生涯研修センターが突撃インタビュー。

スーパービジョンを受けた会員の声をお聴きください。

そして「いいじゃん！」と思われたら、是非スーパービジョンの活用をご検討ください。

(参考)スーパービジョンとは - 認定社会福祉士・認定認証機構 日本社会福祉士会

https://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/supervision/sv_jisshi.html



スーパービジョンを受けてみようと思ったきっかけはなんですか



2016年7月、相模原市の知的障害者施設で、45人が殺傷されるという前代未聞の事件が発生し、社会に大きな衝撃を与えました。私が一番ショックを受けたのは、犯人に同調するコメントがネットで多数あり、あらためて社会にある障害者に対する差別を眼前にしたことでした。私は障害を持つ当事者として何かしなければと感じ、社会福祉士を取得し、医療福祉業界に転職しました。しかし、ソーシャルワークの知識がありませんでしたので、基礎から勉強しようと、基礎研修受講後にSVを受講しました。

スーパービジョンを受けてどのようにかわりましたか



経験豊富な尾方さんから、様々な角度から指導を受け、目から鱗が落ちる思いとなりました。何より有難かったのは、未熟な私を社会福祉士として向き合ってくれたことで、私の中に、社会福祉士としてのアイデンティティが芽生えるのを感じました。

今、成年後見人をしていますが、業務を遂行する中で、様々な立場の人達と会います。その時、「意思決定支援を大事にする社会福祉士」としての自身の立場を明確にし、業務にあたれますこと、SVでの学びが大きな支えとなっていると感じています。



これからスーパービジョンを受ける人にメッセージをお願いします



「福祉」という言葉には、もともと「幸せ」という意味があるそうです。この意味を借りるならば、社会福祉士とは「社会全体の幸せのために働く人」と言えるのではないのでしょうか。そして、その“幸せのために働く人”としての第一歩が、SVでの学びにあると、私は感じています。

これからSVを受けられる皆様にとって、SVが単なる研修に留まらず、自身の成長と気づきの場となることを願っています。皆様のチャレンジを、心より応援しています。

